

東部市民センター

魅知国絆寄席

平成25年8月4日（日）開催しました。

出演者（出演順）

落語 六華亭 遊花

奇術（和妻）北見 翼

津軽風三味線 岡崎 秀明



「市民センター魅知国絆寄席」は、地域の方々に本格的な落語を気軽に楽しんでいただくとう各市民センターを会場に開催している、当財団の主催事業です。

まずは、落語家・六華亭遊花さんでスタート。語りの軽妙さと間の取り方はさすが。また、方言を交えた導入のくんだり、特に宮城県の方言で特徴的な鼻濁音の「ぎ」と破裂音の「び」の効いた語り口で、観客の心をあつという間にわし掴みにしていました。まさに六華亭の真骨頂！



続いて、日本古来の伝統手品を継承する若手の和妻師、北見翼さんの登場。江戸時代から続く日本のマジックがお見事でした。将来が楽しみです。



トリは、津軽風三味線、岡崎秀明さん。心に響く重みのある語りと三味捌きで観客を魅了。さらに、伝説の高橋竹山氏があたかも岡崎さんに乗り移ったかのような、あのアランの歌に、全員が肩をゆすりながら歌い始め、岡崎さんの世界に浸っていました。寄席を堪能するという、少しだけ日常から離れる体験を通して、日ごろのストレスも洗い流していただけたのではないのでしょうか。

【当日のエピソード】 開場直前、地震が発生。宮城野区は震度4でしたが、当市民センターは大事に至らず、観客の皆様が待つ中、無事開催となりました。また、一時、市民センターのエレベーターが停止しましたが、その際に来館されていた車椅子の方も、他の観客の皆様のお力添えのおかげで2階会場までお上がりいただくことができました。

主催：公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	共催：公益財団法人落語芸術協会 LLPコムワークプロジェクト
後援：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	助成：文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

今回の開催にあたり、仙章堂様、JR東日本グループピボット（生鮮食品館）様、東北分譲住宅販売株式会社様、日本民謡池田会様、そしてたくさんの方々の地域の商店会の方々から御協賛をいただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。